



海津市まちづくり委員会  
自治基本条例策定分科会第6回

# 今までの振り返り

## 第1回

- 概要説明(検討内容および活動計画等)
- 人口減少社会と自治基本条例について  
岐阜経済大学准教授 菊本舞先生(本分科会アドバイザー)

## 第2回

- 海津市総合開発計画について
- フリーディスカッション「総合開発計画(後期計画)について」  
意見
  - ・今は豊かさから幸せを求める時代が変わってきているのでは？
  - ・海津市の人口の適性値は？この辺りは農業地帯であり、工場を誘致するのは難しいのでは？
  - ・海津市に住んでいる人がどう豊かに生きるか、ここで生まれ育った子供がふるさとに定着しようと思えるかが大切なのではないか。

## 第3回

- ワークショップ「私たちのめざす“まち”」
  - ・現在、私たちの“まち”は、どんな“まち”なのか？
  - ・将来、どんな“まち”になってほしいか？
- 【目的】
  - ・現在、海津市がどんなまちなのか確認
  - ・目指すまちの姿の洗い出し
  - ・自治基本条例「前文」の素材集め。(条例の性格、策定目的、雰囲気)
- 【まとめと課題等】
  - ・住み続けたいまち、住みたいまちとは、誰にとってのことか。(市民とは誰か)
  - ・より多くの市民に関心、当事者意識を持ってもらうにはどうすればよいか。

# 今までの振り返り

## 第4回

### ■ ワークショップ「私たちの目指す“まち”の実現に向けて」

- ・現在、私たちの“まち”は、どんな“まち”なのか？自治基本条例の自治とは何か？
- ・将来、どんな“まち”になってほしいか？住みやすいまちをめざす分科会として“自治”をどう定義づけるか？

#### 【目的】

- ・自治の内容は豊富、多様であることを認識。
- ・自治基本条例の素材集め及び各主体とその役割を検討するうえでの前段的な作業。

#### 【まとめと課題等】

- ・自治会と自治とは違う。
- ・目指していくまちの姿というものを、自治会という組織をベースにしてやっていけるか。
- ・議会との関係、住民と住民組織と行政の関係。
- ・そもそも住民の民意が反映されているのか。

## 第5回

### ■ ワークショップ「まちづくりの基本原則と主体について」

- ・基本原則の実現に向けて、各主体(市民、コミュニティ、事業者、行政、議会)にどのような役割を期待するか。

#### 【目的】

- ・どのような原則があるかを知る
- ・どの項目について特に意識が高いかを知る

#### 【まとめと課題等】

- ・まちづくりの主体について(誰がどんな権利をもってどんな役割を果たすか)、個別もしくは分担制で各主体の役割の検討が必要では

# 今後の分科会の進め方【確認】

- ◎ 自治基本条例の素案については、平成24年度に完成し、市長に提案します。
- ◎ 条例案の完成まで
  1. 骨子の完成(事務局案 → 分科会で修正 → 骨子完成)
  2. 骨子を基に、市の作業部会で条例案を作成
  3. 条例案の完成(市で作った条例案を分科会で修正)
- ◎ 今後のワークショップ、検討のテーマ(案)

<input checked="" type="checkbox"/> 目指すまちの姿(前文)、市民憲章	<input type="checkbox"/> 行政の役割と責務
<input checked="" type="checkbox"/> まちづくりの基本理念、基本原則	<input type="checkbox"/> 行政運営の方針、評価
<input type="checkbox"/> 市民参加の権利と責務、制度保障	<input type="checkbox"/> 情報公開のあり方、情報共有
<input type="checkbox"/> 住民投票	<input type="checkbox"/> 市民への周知
<input type="checkbox"/> 住民自治(自治会、まちづくり協議会)	<input type="checkbox"/> 条例の名称
<input type="checkbox"/> 議会の役割と責務	<input type="checkbox"/> その他( )
- ◎ 骨子案を作るためのキーワード集めとしてワークショップを行っています。
- ◎ 市民ワークショップの開催により、キーワード集めや市民への条例検討中であることを周知します。

# 協働・共生 ずっと住み続けたいまち

メンバー

宮脇信幸 大橋宗明 古川邦彦 石川晴代 菱田登 村上碩也 古川義弘

## 良いところ

### 豊かな自然

- ・広大な田園地帯がある
- ・山と大河がある
- ・扇状地は景観も良く、水に強く安全な土地である
- ・環境が良い(川、緑、田園が多い)
- ・空気が良い、田園地帯である
- ・豊かな自然
- ・自然が残っている

### 都市近郊

- ・ほどほどの規模
- ・都市近郊
- ・愛知県、三重県など名古屋にも近い
- ・愛知、岐阜、三重の中心地
- ・通勤に便利
- ・高速道路、新幹線等近い

### 歴史・観光のまち

- ・史跡や千代保稲荷の名所がある
- ・松平家とのつながりがある
- ・観光地がある(千代保稲荷、木曾三川公園)
- ・道の駅も二つある
- ・要所要所に観光資源

### 盛んな農業

- ・農業環境に恵まれている
- ・農地がたくさんある
- ・豊かな作物(柿、みかん、トマト、キュウリなど)

### 災害が少ない

- ・災害が少ない
- ・原発がない

### ライフライン完備

- ・下水道が整備されつつある
- ・大雨による被害が少ない
- ・コミュニティバスが市内にあり

### 人情のあるまち

- ・おだやかな市民性
- ・大家族が多く残っている
- ・隣人との付き合いが良い

### 交通の便が悪い

- ・交通機関が少ない
- ・交通の便が悪い
- ・通勤不便

## 弱いところ

### 働き口がない

- ・多様な職場が少ない
- ・働く場が少ない
- ・商店街が淋しくなってきた
- ・産業が少ない
- ・優良企業が来ない
- ・商店が少ない
- ・働く場所がない
- ・大企業がない

### 人口減少

- ・人口減少が著しい
- ・人口の減少に歯止めがかからない
- ・高齢化率が高い
- ・人口減少
- ・定住、人口減への取り組み不足

### 都市機能が弱い

- ・高度医療を受けるところがない
- ・総合病院—安心できるがない
- ・近くにホッとできるお店(喫茶店)がない
- ・潜在型観光施設がない
- ・娯楽施設が少ない
- ・258号線沿いに大型スーパーがない

### 自然災害が心配

- ・輪中地帯で災害が心配
- ・潜在的には水害の恐怖
- ・防災(減災)意識が低い

### 公的負担が高い

- ・税や健保の負担が大きい
- ・市財政のひっ迫
- ・税金が高い

### 閉鎖的である

- ・輪中根性が根深い
- ・考えが古い
- ・プライバシーが守られない
- ・町が川で分断されている
- ・平田、海津、南濃、それぞれに人柄も違い付き合いが難しい
- ・町のヘソがない
- ・全員参加が苦手

### 農業のバラツキ

- ・作物(トマト、柿など)沢山あるのにバラバラで特産品になっていない
- ・農地の有効利用の遅れ

### 積極的な気風

- ・住民に元気がない

### 三町民の融和

- ・旧三町を取り払ったまちづくり
- ・市になって6年過ぎても未だ違和感を感じる

### 農業振興

- ・バラバラの作物を何とかまとめて特産品を1つに絞る
- ・広大な農地を利用した農業振興

### 公的負担の少ないまち

- ・施設の集約による経費削減
- ・公的負担の少ないまち

### 開かれた議会

### 開かれた市民

- ・市役所窓口で市民の知恵を借りる係を
- ・市民はないものおだりをしない
- ・議会は自分の場に入るな

### 歴史と観光のまち

- ・歴史を前面に出したまちづくり
- ・大江川に船を浮かべて観光客よりの収入

### 住民連携と若者の定着

- ・若者が定着できるまちづくり
- ・住民の連携による支え合い

どんなまちにしたいか

### 交通機関の充実

- ・交通網の拡充
- ・行政、議会、住民が一体となり課題に取り組む
- ・行政は困った事を隠すな
- ・住民参加のまちづくり

### 産業誘致と働き場の確保

- ・産業(企業)の誘致
- ・大企業をよんで税所得を増やして豊かな市にして税金を安くする
- ・企業が来やすいまちづくり
- ・工場誘致による働き場の確保

### 魅力あるまち

### 誇りのあるまち

- ・おざなりですが元気で活気のあるまちにしたい
- ・ほどほどの生活レベルのまち(期待大要求しない)
- ・誇れるものを探す
- ・郡上なら盆踊り、高山ならおわら風の盆、海津市なら…というものを作れたら
- ・老後の心配のないまち
- ・ワンテプルのまちづくり、三者が知恵の出せるまち(市民、行政、議会)

# WS成果は、どのように使うのか？

まずは骨子案のたたき台を作るためにWS成果を使います。

例として、前文を作る過程を挙げます。

○第3回ワークショップで発表されたこと、キーワードを整理します。

○キーワードを拾って、前文に盛り込むキーワードやイメージ等を考えます。

## グループ共通のキーワード

- ・住みたいまち、ずっと住み続けたいまち
- ・豊かな自然(川、緑)    ・人情、絆
- ・歴史、観光                    ・産業(農業)、特産品                    ・公共交通
- ・魅力、誇りあるまちづくり                    ・民意、開かれた議会、市民

## 前文

- ①海津市の歴史・文化・産業・地理的なキーワードを含む  
⇒ **豊かな自然、木曾三川、養老山脈、産業(農業)、歴史・文化**
- ②条例制定の理由(**民意、開かれた行政**)
- ③どのようなまちを目指すのか  
⇒ **ずっと住み続けたいまち、誇り、魅力、絆**
- ④条例制定の基本的な理念を表すキーワードを含む(住民自治、情報共有)
- ⑤市民憲章を尊重する記述を含む

# フリーディスカッション

## 1. ワークショップの方法について

時間はかかるが、最終的な結論(グループで合意形成される)が出るまで議論を継続するか。会議時間内だけでは対応できないときはどうするか。

## 2. 骨子や条文の作り方について

- ・骨子(条文)を、分科会の中で起草委員のようなものを立ち上げて作る。
- ・分科会の中で、複数の作業部会をつくり、受け持ちのテーマについて案を作る。
- ・事務局が、WS成果から骨子(条文)を作り提示し、それについて意見を言う。
- ・その他

## 3. 市民を巻き込む仕掛けづくり

海津市における自治基本条例策定の取り組みを市民に広く普及し、より多くの市民の参加のもとで策定を進めるためにはどのような取り組みや仕掛けが必要か？

## 4. その他

運営方法等、ご意見、ご提案があればお願いします。

フリーディスカッション

### 3. 市民を巻き込む仕掛けづくり

	①	②	③	④
対象者				
内容				
方法				
実施時期				
その他				

Memo